

5月3日 家族らに囲まれ長寿を祝う 附馬牛町の佐々木トキさん100歳

佐々木トキさんの100歳を祝う会が自宅で行われました。家族や親戚ら約40人が祝福すると、トキさんははっぴりと笑顔を見せました。トキさんは大正5年に附馬牛町で生まれ、17歳で八重二



花束を贈られて笑顔を見せるトキさん

郎さん(故人)と結婚。農業に励みながら子ども5人を育て、現在は孫やひ孫計27人に恵まれ、穏やかに過ごしています。

4月27日 木工団地に木質バイオマスボイラーを導入 森林エネルギーを活用しよう

林野庁から委託を受けている実証事業の一環で、青笹町の木工団地内に木質バイオマスボイラーなどが整備されました。完成披露会は同所で開かれ、関係者は森林エネルギーを活用した産業振興に期待を寄せました。未利用材を燃料として利用し、環境負荷の低減と、燃料費の削減について実証を行います。



点火の合図でボイラー稼働！

3月・4月 地方創生連携協定締結&国体PR用のぼり贈呈 東北銀行が地域活性化を応援

3月28日、本市と東北銀行は、「地方創生の連携に関する協定」を締結しました。協定内容は、雇用確保のための商工業振興・農林畜産業の6次産業化・観光振興と交流人口の拡大による定住促進などです。特に、6次産業に挑戦する人を対象とした、本市が利子補給する資金融資にも取り組みます。4月25日には、岩手国体をPRするのぼり200本を本市に寄贈。寄贈されたのぼりは、少年男子サッカー競技会場となる遠野運動公園などに設置する予定です。締結式と贈呈式は、いずれも市役所とびあ庁舎で開催されました。同行の村上尚登頭取は「地元

に根差した銀行として、今後もさまざまな形で地域活性化のお手伝いをしていきたい」と思いを語りました。



1_締結式で固い握手を交わす村上頭取◎と本田市長 2_寄贈されたPR用のぼりは、国体会場などに設置されます

5月3日 遠野さくらまつり「南部氏遠野入部行列」 華やかな時代絵巻を再現

春の風物詩である「南部氏遠野入部行列」(遠野町地域づくり連絡協議会主催)が蔵の道ひろば周辺で開催されました。行列は約400年ほど前に八戸南部氏が遠野に入部した様子を再現したもので、今年で16回目。本市と交流のある八戸市新田城まつり運営委員会の26名も参加し、総勢200人が当時の衣装を身にまとい、お国入りを再現しました。入部行列の後は郷土芸能競

演会が開催され、訪れた市民や観光客の目を楽しませました。また同日は、市と(一社)日本自動車連盟(JAF)の「観光振興に係る連携協定書」の調印式も実施。この協定は、相互の連携により観光振興に向けた観光客誘致を目的としています。今後はJAFのホームページや会報誌で、全国に遠野のイベントや観光スポットが紹介される予定です。



1_当時の衣装で練り歩きました 2_協定を交わすJAF岩手支部 高橋康雄支部長◎と本田市長

4月27日 コンビニ店員が人命救助 的確な救命措置に感謝状

4月22日、意識不明の男性に迅速に救命措置を行った、サンクス遠野バイパス店の経営者である千葉幸重さん(51歳)＝綾織町＝に、市消防本部消防長から感謝状が贈られました。千葉さんは、同店の店舗前で男性が倒れているのを発見。すぐに救急車を要請し、到着までの間、心肺蘇生法を行いました。



人命救助にあたった千葉さん

4月24日 千葉家住宅の改修前に特別公開 千葉家10年間の改修工事へ

国指定重要文化財・千葉家住宅が約10年間の保存修理工事に入るのを前に、最後の特別公開が行われました。市内外から約300人が来場。重文千葉家の活用を考える会が、餅まきなどで盛り上げたほか、イベントと併せて募金活動を実施。集まった約13万円は市に寄附され、同所の整備事業に役立てられます。



たくさんの千葉家ファンが訪れました

5月20日 熊本県菊池市支援金伝達式 菊池市へ届け！ 遠野の思い

平成28年熊本地震で被災した友好都市の菊池市のために市民が集めた支援金の伝達式が、とびあ庁舎で行われました。支援金は23の個人・団体から寄せられ、総額は315万円。



支援金を手渡す市民団体の代表者ら

同日は、被災地を視察した市職員の報告会も開かれました。支援金は、6月上旬に本田市長が菊池市を訪問し、手渡し予定です。

5月5日 「遠野郷八幡宮子供やぶさめ」開催 子どもの健やかな成長を願う

遠野郷八幡宮の「子どもやぶさめ」が同所で開かれ、10人の児童が参加しました。子どもたちは奉行姿でポニーにまたがり、それぞれの腕前を披露。合計9本の的中数を競いました。この催しは子どもの成長を願うもので、今年で25回目。あいにくの強風にも負けず真剣に的を狙う姿に、観客は目を細めていました。



悪天候にも負けず矢を放ちました

4月～ 新任ALTは米国出身のジャスリンさん 一緒に英語を楽しもう

遠野の子どもたちに英語や外国の文化を教える外国語指導助手として、米国カリフォルニア州出身のジャスリン・ホアンさんが着任。4月から、市内14の小中学校で授業にあっています。ジャスリンさんは「遠野物語を読んだり、観光したりして、遠野での暮らしを楽しみ、授業に役立てていきたい」と意気込んでいます。



ジャスリン・ホアンさん



熱心に教えるジャスリンさん

4月26日 いわたの10手使い方講座 外国人観光客をもてなそう！

近年急増している外国人観光客の誘客につなげるため、(一財)遠野市教育文化振興財団が企画。希望郷いわて文化大使の村尾隆介氏が、観光関係者ら70人におもてなしの秘訣を伝授しました。村尾氏は「英語が話せなくても大丈夫。記号やイラストで相手を笑顔にするような接客が大切」と呼び掛けました。



おもてなしに必要な要素を語る村尾氏